

海洋環境（2単位）

必修

2年アクアライフ科

授業の概要	（内容） 様々な海洋環境や、陸水環境について紹介し、地球環境におけるそれらの役割について学習します。また基礎的な環境調査方法や、その保全技術も実習を通して学習します。		到達目標	これからの漁業は「環境」を考慮し行わなければいけません。養殖業にしても漁業にしても「環境」を利用させてもらい成り立っています。今後の漁業を発展させるためにも、まず「環境」を理解し、「環境」に働きかける心を養うことを目的とします。
	（形態） 講義・実習			
年間の授業計画	一学期	4	オリエンテーション	アンケート、授業の進め方について説明。様々な海洋環境や陸水環境について理解し、その保全技術について学習します。様々な国際条約の概要について説明。
		5	海洋環境の保全	
		6	陸水環境の保全	
		7	海洋環境関係法規	
	二学期	9	漁場環境の特性1	河川や湖、藻場や干潟などの環境について漁業と関連させながら学習していきます。またその調査方法についても実習を通して学習します。
		10	漁場環境の特性2	
		11	漁場の調査1	
		12	漁場の調査2	
	三学期	1	海洋工事と環境保全	環境汚染と漁獲量の減少の問題は切っても切り離せない関係にあります。その漁場を含めた環境を改善、造成する技術について学習していきます。
		2	漁場造成技術	
		3	環境改善技術	
	学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業はすべて栽培実習棟で行います。 ・ 実習を行うことも多くありますので、実習服はいつも用意しておいてください。 ・ 移動教室になりますので、特に実習の日には遅刻しないように気をつけましょう。 ・ 座学6：実習4の割合で授業を進めていきたいと思えます。素晴らしい環境に恵まれたこの学校で直に環境を観察してもらいます。 ・ 海洋環境を学び、海洋環境を体験しよう。 		
評価方法	ペーパーテスト70%		平常点30%	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間考査、期末考査の平均点 × 0.7 ・ 各学期に行われる交差の7割をペーパーテストの点数とします。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席状況（欠席・遅刻・早退） ・ 授業・実習態度 ・ 提出物・忘れ物 ・ 積極的に授業に参加しているか。 ・ 忘れ物はないか。 ・ 積極的に実習に参加しているか。 ・ 後片づけまで確認できたか。 	
教材	教科書 『海洋環境』（文部科学省）		アドバイス 海洋環境を学び、海洋環境に働きかけていく授業です。短時間では環境は何もは答えてくれないかもしれません。しかし、長い目で長期間にわたり問いかけていくつもりです。学校周辺の環境という限られた空間ですが積極的に取り組みましょう。	